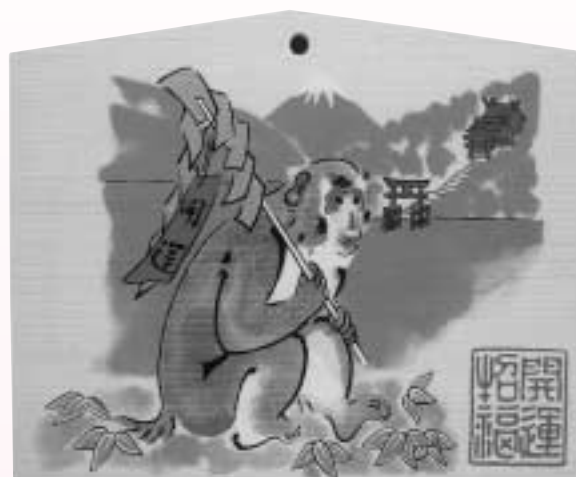




小瀬谷
田崎のりえ

就職と同時に箱根に移り住み4回目の干支を迎えました。すっかり箱根の美しい自然に魅了され癒されながら過ごしています。私は児童養護の仕事に就き、自然の中で子どもたちと共に学ぶという素晴らしさを実感しています。そしてまた同世代の方々は共通する事でしょうか、子育て老人介護と日々我身を忘れて大奮闘しています。忙しい毎日ですが、私に任された役目としてしっかり果し、次世代の子どもへ心豊かに強くバトンタッチできればと望んでいます。

この節目を迎え、改めて健康な身体を作ってくれた両親に感謝し、いつまでも夢を持ち続け、そして今をしっかり頑張っていきたいと思っています。



仙石原
山崎敏明

この素晴らしい自然豊かな箱根に生まれて、今年5回目の申年を迎える私にとって特別な年になりそうです。今年が定年、第2の人生への一歩を踏み出すに当り、来し方を振り返り、又、行く末に思いを馳せ、今まで培ってきた事を土台として、何が出来るのか、何をしたいのか、どう生きたいのか問掛け、多様化していく社会の中で、自分らしい生き方を求めていこうと思います。これからも、町民のひとりとして私を育ててくれた箱根で、地域の人達と協力しながら箱根でしか味わえない歴史や文化を、そして四季折々に醸し出す“何かいいよね箱根って”と感じさせる雰囲気大切にしていきたいと思っています。



宮城野
神戸照子

一年を通して暖かい環境から、特に冬の季節の身にしみる寒さの地に嫁ぎ、生まれ育った月日をはるか越える年月をこの箱根で過ごし、四季折々変わる風景の中で、自然のすばらしさを身にしみて感じながら干支を迎える事ができました。

近年、人の死に関する事件が多発していますが、人にそれぞれ体を気遣いつつ時代を経て長寿社会に入って、これまで以上に生命と健康が大切になってきました。日頃、家事に仕事にと忙しさに追われ、体調を崩し病院通いとなり、つくづく健康の大切さを改めて考えさせられました。申年は知能機敏、積極的との言葉がありますが、その言葉を心身の支えに、家族の健康で豊かな生活の質を求め、健康の向上に願いをこめ頑張っていきたいと思っています。

今年で9回目の新年を、箱根で迎える事になりました。長女が2歳の時に引越してきましたが、見知らぬ土地での生活は不安な事だらけでした。それでも、長男が生まれ、子供達が成長すると共に友達も増え、箱根の自然が好きになり、今では親子共々この箱根以外で生活する事が考えられないくらいです。私の仕事は接客業ですが、お客様に「素敵な所ですね。」と言われる度に、私自身の事を誉められているかの様に嬉しく思え、もっと沢山の人に来てもらえる様に努力していきたいと思っています。

また、今年1年家族の笑顔が絶えない年になる様に、頑張っていきたいと思っています。



湯本茶屋
細川百合子

箱根で生まれ育ち、今年で4回目の干支を迎え、今まで、特別な目標を持つことなく、一年一年過してきました。毎年、大なり小なり色々なことがありますが、次のことをモットーに暮し、平穩無事に暮してきました。

それは、「心と体の健康」を大切にすることです。「体の健康」は、体調を整え維持すること。「心の健康」は、人の話しに耳を傾け受け入れる「謙虚な心」、自分の非を認めゴメンナサイと言える「率直な心」、人の優しさにアリガトウと言える「感謝の心」。以上のことを、いつまでも大切に、これからも生きていきたいと思っています。



強羅
中村雅昭

2004年

わたしたち申年から 新年のひとこと



元箱根
阿部紀子

昨年末、私は1年間の旅を終え、箱根に帰郷しました。滞在していた沖縄での生活からたくさんの事を学びました。

私は色々な土地に滞在し仕事をしていたのですが、沖縄といっても場所によってずいぶん印象が違うことに驚きました。たった1年でしたが、自分の考え方が変わる程、実りのある旅だったと思います。現在、私は箱根で働いています。旅先で学んだことを生かし、これからは箱根の良さを見つめていこうと思います。そして次の申年に、また旅に出ようと思います。



宮ノ下
小山宗一

箱根への郷土愛を自ら実感したのは、学生時代にこの地を一時離れ、外から箱根を回想したときでした。新緑の香り、夏の夕暮れ時に鳴くヒグラシ、秋の紅葉、温泉の湯煙、そして、人々のやさしさがなつかしく古巣に戻って来ました。都会育ちの妻は、「不便な山奥に、来てしまい大変だわ。」とっておりましたが、最近では、休みの日に、芦ノ湖の湖畔や山々を散策し、大自然の恩恵を享受しております。3回目の干支を迎え、健康、家族、仕事、交友、地域貢献と人生のバランスを充実するべく、新たな一歩を踏み出したいと思っています。



箱根
安藤航汰

小学校の六年間は長いようであつというまででした。楽しいことばかりではなかったけどいろいろな経験の中で将来の夢を見つけることが出来ました。その夢をかなえられるのかそれと途中でかわってしまうのか、わからないけど、今は夢に向かってがんばりたいと思います。四月からは中学生になります。失敗をおそれずに、くいのないように、いろいろなことにチャレンジしたいと思います。そして次の年にはぼくの夢がかなない、また新しい夢にむかって歩んでいることでしょう。



仙石原
阿部真奈美

今年は、私のえとの申年です。何か少し、うれしい気がします。12才って、ちょっとだけお姉さんになった気がします。12年って早いなあ。学校でも、6年生になります。私が入学したときそうじの仕方、給食の配り方、知らないことを、6年生は、分りやすく、やさしく、楽しく教えてくれました。私も、先輩達のようになれたらいいと思います。そして、児童会でも、いろいろな行事で、いそがしくなっていますが、自分の意見を、言えるだけでなく、他の人の意見も、聞く事ができる様になりたいと思います。12才の年が思い出いっぱい、すばらしい年になりますように。



湯本
山田浩嗣

2004年で24歳を迎える自分は年男になるんだと実感致します。気がつけば中学校を卒業し高校、大学と進み今現在は大学院生です。振り返るとしみじみ実感のできる23年間でした。24年目となる今年は今まで以上に有意義な1年間に行こうと思います。今や自分の同級生もほとんど社会人となり自分1人が学生のままでさびしい気持ちもありますが今年1年間で就活をして立派な社会人になるためにも大事な1年間となります。自分は23年間生まれ育ったこの箱根が大好きであります。働くならば神奈川県の中、できれば箱根近辺が良いと考えています。箱根という町は日本全国津々浦々どこをとっても箱根が一番住みやすく、素晴らしい町と自負しております。そんな箱根に生まれ育ったことに感謝の念と誇りを持ちながら今年1年を過ごしていきます。